

# 長期戦略:テーマ 「研究者の輩出」

提出日 2020年 8月 25日

担当部署

## II.実施計画帳票

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	小菅副学長(総括) (学長室大学院課)	実施計画の 担当部署	研究推進社会連携機構
-----------------------	------------------------	---------------	------------

### 1. 実施計画

実施計画(タイトル)	取組開始	達成状況 確認年度	学部・研究科での 取組み有/無	帳票
2-(1)-① 特別研究員採用者増のための支援策実施	2019年度	2021年度	必要なし	不要
<b>内容</b> 研究者輩出のため、日本学術振興会の特別研究員の採用者数を増やす。 <b>【指導教員への支援策の検討】</b> 前期課程2年の学生がDC-1に申請する際、指導教員が申請書類を吟味し、適切な内容とするよう支援すること、またその結果、当該学生がDC-1に採用された場合の指導教員への支援内容を検討する。 <b>【特別研究員採用者への支援策の検討】</b> 大学院奨励研究員制度、大学院博士課程後期課程研究奨励金制度を再検討し、特別研究員不採用者で高評価者に対する経済的援助、研究経費補助の制度に再構築する。				
進捗状況を測る指標	指標名	定義・算式		
指標1	特別研究員採用者数の増加	2018年度6人を2027年度に10人にする。		
指標2				
指標3				

## 目標1&lt;指標1&gt;特別研究員採用者数の増加

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標	6人	6人	6人	2022年度採用から1名程度ずつ増やし、2027年度に10人に		
実績	6人					

## 目標2&lt;指標2&gt;

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標						
実績						

## 目標3&lt;指標3&gt;

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標						
実績						

## 2. ロードマップ

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
指導教員への支援策 の検討 特別研究員採用者へ の支援策の検討	策定段階	制度検討	制度検討・決定	制度運用開始	制度運用・改善	制度運用・改善
	2021年3月 末段階	—	—	—		
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	—
	策定段階	制度運用・改善	制度運用・改善	制度運用・改善	制度運用・改善	
	2021年3月 末段階					
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	策定段階					
	2021年3月 末段階					
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	—
	策定段階					
	2021年3月 末段階					

## 3. 費用計画・人員計画

【費用・人員を必要とする理由】							
非公開							
経費 単位:万円	2019 年度 承認	2020 年度 承認	2021 年度 承認	2022 年度	2023 年度	2024 年度	左記以降
非公開							
人員・人件費 単位:万円	2019 年度 承認	2020 年度 承認	2021 年度 承認	2022 年度	2023 年度	2024 年度	左記以降
非公開							

## 4. 進捗状況・得られた成果

2019年度	特別研究員採択者、指導教員からのヒアリングおよび他大学の実施状況の確認等により、制度検討のための情報収集・分析を進めた。
2020年度	
2021年度	
2022年度	
2023年度	
2024年度	

## 5. 今後の課題及び方向性

2019年度	ロードマップに則り、採択者および指導教員へのヒアリングや他大学の実施状況の確認等により、制度構築のための情報分析を進め、素案の検討に入る。
2020年度	具体的な制度設計の検討を進めていく。また、検討する支援制度は「大学院活性化資金の再構築」を原資として行う予定となっており、ベーツ特別奨学金等大学院生奨学金制度の改善策と並行して進めていく必要があることから、学長室、学生活動支援機構等関連部署とも協議を進め、ロードマップ記載のとおり、制度決定を実現していく。
2021年度	
2022年度	
2023年度	
2024年度	

## 6. 学院総合企画会議の基本方針

2018 年度	<教務機構からの業務移管に伴う人員増については、その内容や量に応じ、事務職員 1 名を異動する方向とし、人事部にて対応します。>
2019 年度	—
2020 年度	—
2021 年度	
2022 年度	
2023 年度	

## 7. Total Review の結果

## 【フェーズ I (2019~2021)】

レビュー結果	可 否	備 考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別研究員採択率向上へ向けた URA による申請支援は継続的に実施する必要がある。</li> <li>・新たな任期制助教制度も含めた研究者としてのキャリアプランの全体像を可視化することで、大学院全体の活性化をめざしている。</li> </ul>	継続 ・ 廃止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別研究員採用数増加策の具体化(原資の組み換え含む)</li> <li>・特別研究員採用者を指導する専任教員への支援策の検討</li> </ul>

## 【フェーズ II (2022~2024)】

レビュー結果	可 否	備 考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
	継続 ・ 廃止	